



SAMS Information

The University of Tokushima Graduate School, Institute of Health Biosciences,
Support Center for Advanced Medical Sciences (SAMS)

No. 70
2013/1/11

第85回 HBS研究部 先端医研テクニカルセミナー

今こそ知りたいメタボロミクスのセオリー

総合研究支援センター 先端医療研究部門では、皆様の研究にお役に立つようなテクニカルセミナーをシリーズで開いております。

今回は、近年注目を集めているメタボローム研究が最新の研究でどのように応用されているのか、またメタボロミクスを研究に取り入れるにあたり考慮すべき基本事項から実験構築例についてもご紹介し、メタボロミクスをより身近に感じていただきたいと思います。多数の皆様のご参加をお願い致します。

日 時	: 平成25年1月25日(金) 16:00 ~ 17:30
場 所	: 基礎第三講義室 (医学部基礎B棟3階西)
講 師	: 大賀 拓史 氏 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株) バイオマーカー診断事業部

プログラム

16:00 ~ 16:05	はじめに	先端医療研究部門 副部門長	竹谷 豊
16:05 ~ 17:30	今こそ知りたいメタボロミクスのセオリー		大賀 拓史

概 要

メタボロミクスの応用例のご紹介

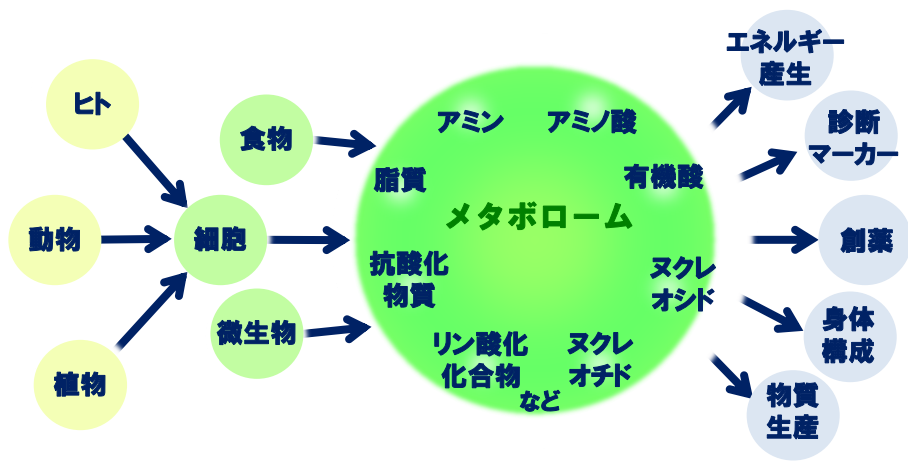
栄養・食品分野におけるメタボローム研究、動物モデルによる疾患研究やバイオマーカー探索研究の実例

メタボローム研究の組み立て方

メタボローム解析を行うための基本事項や実際の実験デザイン例



メタボローム解析で複数の代謝中間体の挙動が一目で把握可能



生物は代謝物質どうしの複雑な化学反応を組み合わせた代謝によりエネルギーを作り出し、生命活動を支えています。巧妙にホメオスタシスをコントロールする生命の理解には、多面的な視点が必須です。マイクロアレイ解析やプロテオミクスなどこれまでの研究で得た知見に加え、メタボロミクスの結果を重ね合わせることで、生命を立体的に捉えることが可能となります。